

令和4年度の主な取り組み

令和5年10月
仙台市経済局

目次

令和4年度の取り組み概要	3
1.新型コロナウイルス感染症に係る経済対策	4
(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み	5
(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進	10
2.原油価格・物価高騰等に係る経済対策	15
3.経済成長戦略推進	19
(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進	20
(2) ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進	32
(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」	37
(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」	48
(5) 次世代放射光施設立地を最大限に生かす「光イノベーション都市・仙台」	55
(6) ダイバーシティ経営と人材確保	56
(7) 仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり	68
(8) その他産業振興に係る事業	70
4.農業の持続的発展	72
(1) 経営体の確保・育成	73
(2) 生産基盤の強化	77
(3) 魅力ある地域の形成	81
(4) 収益性の向上と所得の確保	83
(5) 森林の持つ多面的機能の発揮・維持	86
5.仙台中央卸売市場	89
(1) 管理課	90
(2) 業務課	90
(3) 花き市場	91
(4) 食肉市場	91

令和4年度の取り組み概要

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症等の影響を大きく受けた本市地域経済を立て直すため、資金繰り支援や事業継続支援等の様々な経済対策に取り組んだ。また、コロナ禍を契機とした更なる成長を後押しするため、新規プロジェクトへのチャレンジや業態転換などの前向き投資への支援等を行った。

産業政策分野においては、「仙台市経済成長戦略2023」や中小企業活性化条例に基づき、地域を牽引する「地域リーディング企業」を生み出すための集中支援など本市の競争力強化につながる支援や、事業継承などの中小企業の課題解決に向けた支援を行った。また、先端技術との融合による新事業創出支援や起業支援、次世代放射光施設の利活用促進などイノベーションによる新たな成長促進を図った。さらに、多様な人材が活躍できる環境の構築や企業立地促進など地域経済が成長するための基盤づくりに対する取り組みを行った。

農業分野においては、認定農業者・新規就農者に対する支援などによる経営体の確保・育成、農業用施設の長寿命化による生産基盤の強化、有害鳥獣対策による魅力ある地域の形成、6次産業化や地産地消などを通じた農業の収益性向上、森林の持つ多面的機能の発揮・維持など、本市農業の持続的な発展に向け取り組んだ。また、肥料及び飼料の価格高騰対応として農業経営緊急支援を行った。

中央卸売市場においては、東北で唯一の「水産」「青果」「花き」「食肉」の四部門を持つ総合市場として、東北全体における生鮮食料品流通の中核的な拠点としての役割を果たすとともに、施設の老朽化、ワールドチェーンの構築、低温保管施設の不足など市場が抱える課題を解決していくため、施設の整備、改修や再整備のための調査検討業務委託を行った。

1.新型コロナウイルス感染症に係る経済対策

(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

セーフティネット保証関連及び起業家支援 融資にかかる信用保証料補給

中小企業支援課

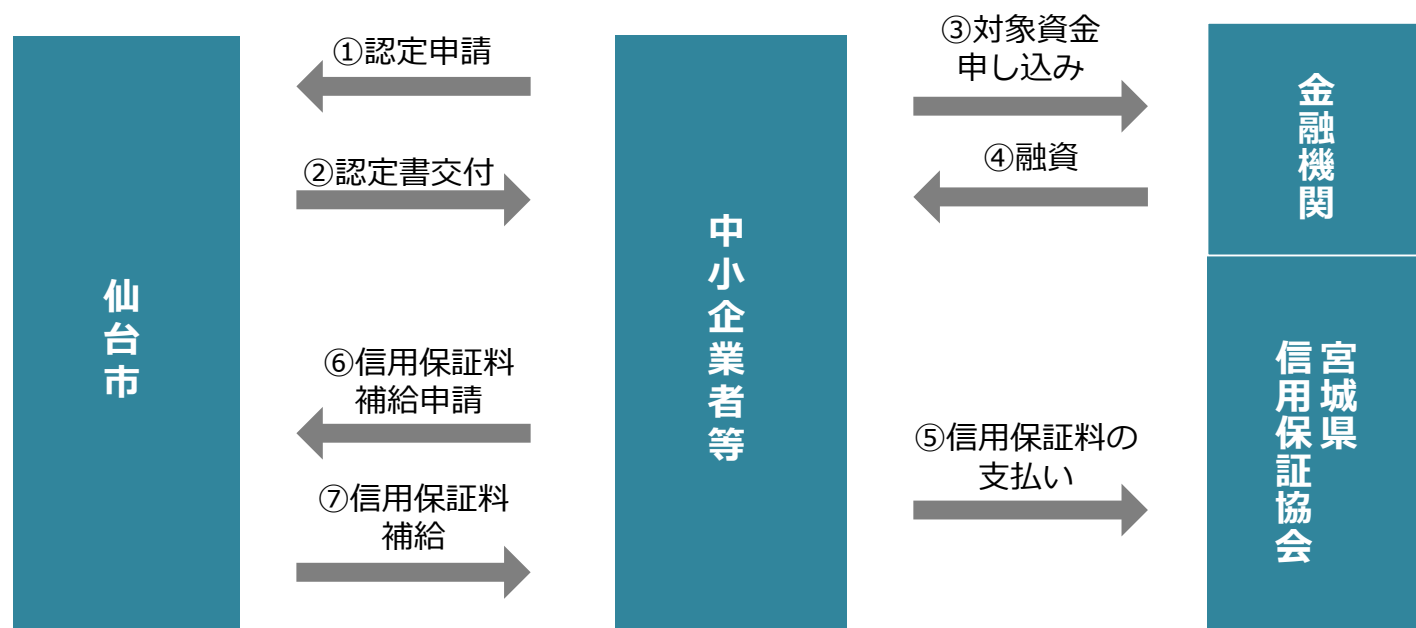
(連絡先：022-214-1003)

令和4年度決算額：102,265千円

令和4年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者及び新たに創業する個人等が本市制度融資の対象資金により資金調達を行った際に、当初支払った信用保証料を一事業者当たり50万円を上限に補給し、資金繰り支援を行った。

- ・ 交付決定件数 424件
- ・ 支給額 102,265千円



(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

新型コロナウイルス対策資本金性劣後ローン連動型 給付金

中小企業支援課

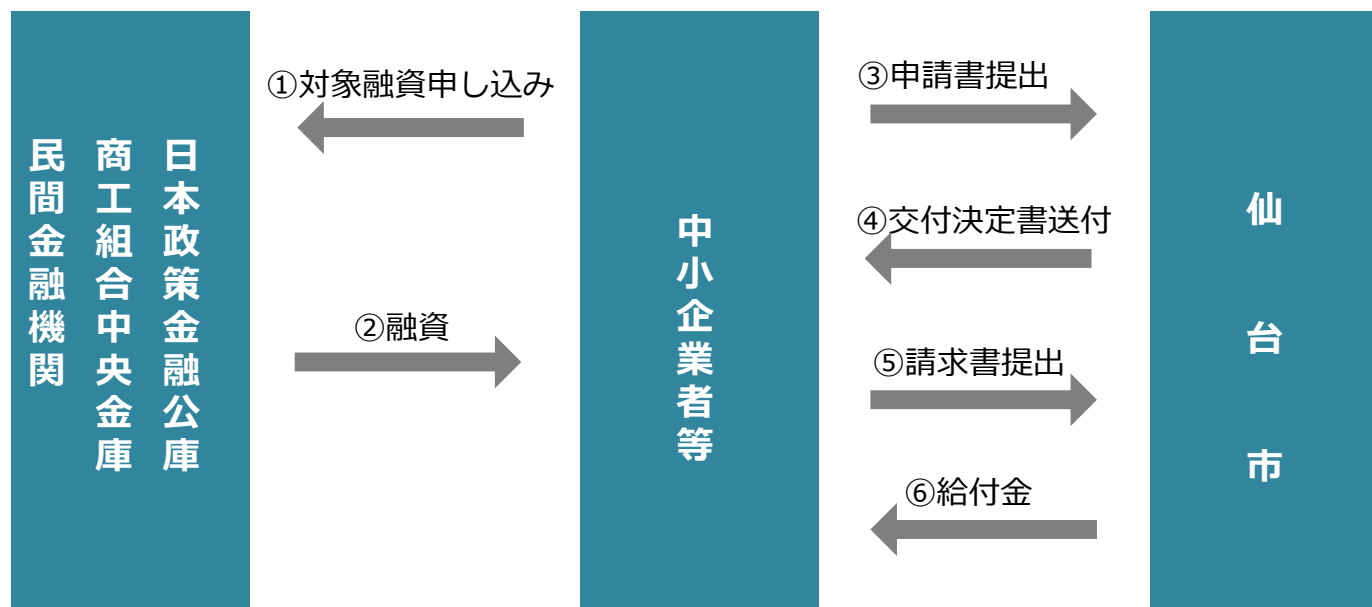
(連絡先：022-214-1003)

令和4年度決算額：61,764千円

令和4年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、日本政策金融公庫または商工組合中央金庫による新型コロナウイルス対策の資本金性劣後ローンと、民間金融機関からの協調融資により財務体質の強化と資金繰り改善に取り組む事業者に対し、最長5年分の利子相当額（上限500万円）の給付を行った。

- ・ 交付決定件数 23件
- ・ 支給額 61,764千円



(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

中小企業等事業復活支援給付金

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7338)

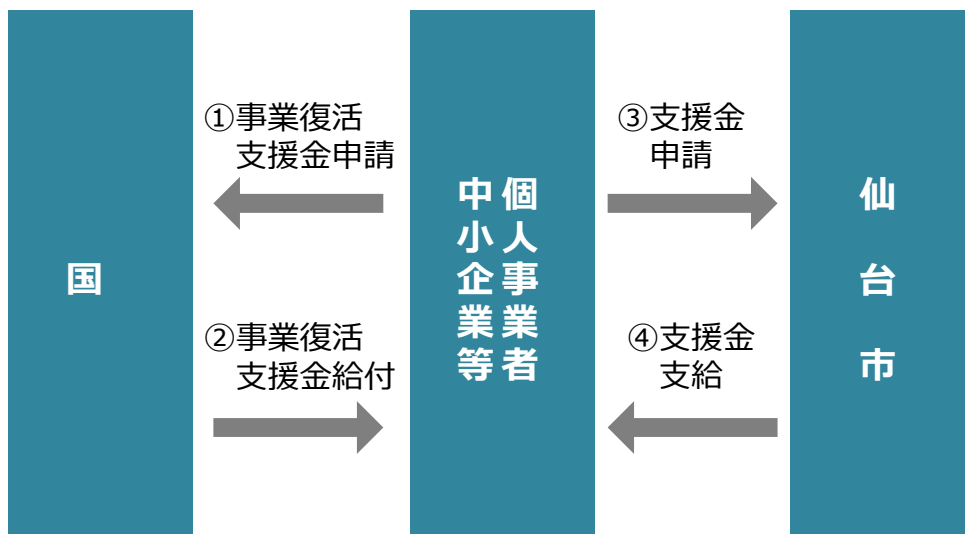
令和4年度決算額：670,160千円

令和3年度繰越額：492,057千円

令和4年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国の「事業復活支援金」の給付決定を受けた個人事業者・中小企業等に対して「中小企業等事業復活支援給付金」を支給し、事業継続の支援を行った。

- ・支給件数 15,261件
- ・支給金額 1,149,951千円



仙台市中小企業等事業復活支援給付金のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国の事業復活支援金の給付決定を受けた個人事業者・中小企業等に、仙台市中小企業等事業復活支援給付金を支給します。

申請までの流れ

STEP 1 国の事業復活支援金※に申請 → STEP 2 国の事業復活支援金の給付決定 → STEP 3 仙台市中小企業等事業復活支援給付金に申請

国の「事業復活支援金」について、詳しくはホームページをご覧ください

事業復活支援金相談窓口
お問い合わせ先 TEL.0120-789-140 (8:30~19:00)

支給対象 次の①、②の両方を満たす個人事業者・中小企業^(※)等が対象です。

- ① (個人事業者) 住民登録または事業所の所在地が仙台市内であること (中小企業) 登記上の本店を仙台市内に置いていること (その他法人) 登記上の主たる事務所を仙台市内に置いていること
- ② 国の事業復活支援金の給付決定を受けていること

※中小企業の事業活動の機会確保のための大企業者の事業活動の調整に関する法律第2条第1項に該当する企業

支給額 国の事業復活支援金 給付決定額の1/10 (千円未満切り捨て)

事業復活支援金で申請した売上高減少率	法人			
	個人事業者	年間売上高* 1億円以下	年間売上高* 1億円超~5億円以下	年間売上高* 5億円超
50%以上	5万円	10万円	15万円	25万円
30%以上50%未満	3万円	6万円	9万円	15万円

*基準年月(国の事業復活支援金の算定に用いた2018/11~2021/3の間の任意の月)を含む事業年度の年間売上高

申請期間・申請方法 2022年3月17日(木)~2022年7月29日(金) (当日消印有効)

感染拡大防止のため、以下の宛先まで郵送でご申請ください。
あて先：〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目6番1号 仙台パークビル4階 仙台市中小企業等事業復活支援給付金事務局 行

詳しくは仙台市ホームページ又は「申請の手引き」をご覧ください。
「申請の手引き」は各区役所・総合支所にて配布しております。

仙台市中小企業等事業復活支援給付金事務局
お問い合わせ先 TEL.022-214-3151 (平日9:00~17:00)

(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

商店街等買い回り促進キャンペーン事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1001)

令和4年度決算額：2,347,082千円

令和4年度の取り組み

新型コロナウイルスの感染拡大、物価・燃料高騰等の影響を受けている市内事業者を支援するための消費喚起策として、スマートフォンを活用したデジタルスタンプラリーを実施した。スタンプラリーは、一定のスタンプが貯まるとデジタル商品券が発行される仕組みとし、商店街等での買い回りを促した。

- ・ 事業期間 令和4年10月20日～令和5年2月28日
- ・ 対象地域 28エリア（27商店街+その他）
- ・ 参加店数 2,969店
- ・ 商品券利用額 2,142,083千円
- ・ 参加店アンケート：約8割が「消費の回復と経済状況の回復に効果があった」と回答
- ・ 利用者アンケート：半数以上が「これまで行ったことがないお店に行った」と回答



利用者向けチラシ（一部抜粋）



アプリ画面（イメージ）

(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

オンライン展示会開催

仙台市産業振興事業団 経営支援課 (中小企業支援課)

(連絡先: 022-724-1122)

令和4年度決算額: 1,088千円

令和4年度の取り組み

オンライン展示会システム「SELECT TOHOKU」の運営により、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中小企業の販路開拓を支援した。令和4年度は、新東北みやげコンテスト入賞商品や展示会出展商品の掲載を行った。

- ・ マッチング件数 76件
- ・ 商品掲載件数 57件
- ・ ページ閲覧数 50,221回



SLECT TOHOKU トップページ



出展商品一覧ページ

(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

プロフェッショナル人材活用による 中小企業の課題解決支援事業

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7329)

令和4年度決算額：26,995千円

令和4年度の取り組み

自社の経営資源だけでは経営課題の解決が難しい市内中小企業と、優れたビジネススキルを持つ外部のプロフェッショナル人材をマッチングし、プロ人材と共に各企業が抱える経営課題の解決を支援した。

- ・ 支援企業数：15社

【支援内容】

- ・ プロ人材とのマッチング手数料等を仙台市が負担
- ・ 各分野における様々な経営課題に対して豊富な知見や経験を持つプロ人材をマッチング
- ・ プロ人材の支援が終了しても効果が継続できるよう、ノウハウの移管や経営改善を支援



【事例】

- ・ 実店舗のデジタル化の遅れという課題を抱えていた衣料品販売事業者に対し、アパレル分野のマーケティングに強いプロ人材の支援により、店舗ごとのSNSマーケティングの改善に着手し、店舗独自のSNS施策を展開するカルチャーが浸透した。
- ・ コロナ禍での売上減少により経営不安を抱えていた飲食事業者に対し、大手飲食企業で海外展開を含む多店舗マネジメントなどの経験を持つプロ人材の支援により経営戦略を見直し、中長期的な規模拡大に向けた経営改善を図った。



(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

がんばる中小企業応援事業

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7329)

令和4年度決算額：199,703千円

令和4年度の取り組み

● 地域産業応援金

国や県の補助金等を活用し、前向きな取り組みを実施する市内事業者に対して支援を実施した。また、原油価格・物価高騰等により厳しい事業環境に直面する事業者への支援として、令和4年6月に原油価格等加算額を新設した。

・支給件数 725件 ・支給金額 189,655千円

● 補助金活用・生産性向上事例集

従来の小規模事業者持続化補助金、事業再構築補助金に係る活用事例の紹介に加え、IT導入補助金、ものづくり補助金の活用事例も紹介した。また、ITの活用等により生産性向上等を図った事業者の取組を紹介した。

【事例紹介件数】

- ・ IT導入補助金 6件
- ・ 事業再構築補助金 6件
- ・ 小規模事業者持続化補助金 3件
- ・ ものづくり補助金 1件
- ・ 中小企業等再起支援補助金 1件
- ・ 生産性向上事例 1件



● 補助金獲得セミナー

仙台市産業振興事業団の中小企業応援窓口での補助金申請手続き支援に加えて、国の事業再構築補助金および小規模事業者持続化補助金に係るセミナーを開催した。また、申請書の書き方を実践的に学ぶことができる個別相談会やワークショップを開催した。

【開催回数】

- ・ 事業再構築チャレンジセミナー 3回
- ・ 事業再構築チャレンジワークショップ 1回
- ・ 持続化補助金獲得セミナー 4回
- ・ 持続化補助金申請書の書き方個別相談会 4回



(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

中小企業チャレンジ補助金

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7329)

令和4年度決算額：67,438千円

令和3年度繰越額：48,049千円

令和4年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響による社会の変化に
適応するため、新たな商品やサービスの開発、新分野展開、
業態転換などの前向きな取り組みを行う市内の中小企業等
に対して支援を実施した。

【支援内容】

- 補助対象経費の金額に応じた補助金の支給
- 仙台市産業振興事業団の専門家による伴走支援
- 新商品、新サービス等の広報支援

【令和4年度（第4回）公募の結果】

- 申請件数 63件 / 採択件数 27件

【令和3年度（第2・3回）からの継続分】

令和3年度に実施した第2・3回公募の採択事業のうち、
一部は令和4年度にも事業を継続して実施した。

- 継続事業の件数 計45件

【採択事例】

- はちみつ製造業者が秋保地区に新たにカフェ併設直売所を開設し、はちみつの直売やはちみつを使用したカフェメニューの提供を開始。
- 食品卸売業者が県内の生産者・加工業者と連携し、未利用資源（未利用魚など）を活用した新たな商品開発及び当該商品を販売するためのECサイトを構築。
- イラストレーターがシルクスクリーン技法を用いたアパレル製品のブランドを新たに立ち上げ、ECサイトやマルシェでの販売等を実施。



(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

中小企業応援窓口（愛称：オーエン）

仙台市産業振興事業団 経営支援課（中小企業支援課）

（連絡先：022-724-1122）

令和4年度決算額：27,367千円

令和4年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている中小企業・小規模事業者等に対して、事業復活支援金、事業再構築補助金、持続化補助金等の各種給付金、補助金の申請手続きや、中小企業等が抱える課題にワンストップで対応した。

【支援内容】

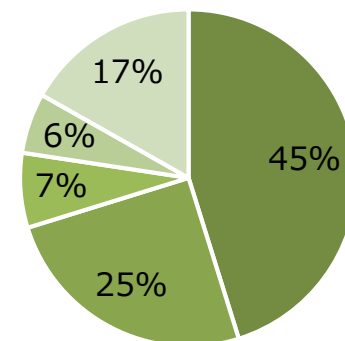
- 各種給付金、補助金等の紹介、申請書等の作成支援
- 各種融資制度、その他支援制度の紹介
- ECサイト構築など非対面型ビジネスへの転換
- インボイス・電子帳簿保存法への対応
- 事業計画の策定支援、資金繰りの確認
- 販路開拓、商品開発支援



・相談件数 2,968件

・相談内容

- 事業復活支援金・給付金申請
- 事業再構築補助金その他補助金・助成金申請
- 販路開拓
- IT化



【主な申請支援対象給付金、補助金】

事業復活支援金、事業復活支援給付金、事業再構築補助金、持続化補助金、地域産業応援金、中小企業チャレンジ補助金、再起支援事業補助金 等

(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

コロナ対応型成長企業支援事業

仙台市産業振興事業団 経営支援課 (中小企業支援課)

(連絡先: 022-724-1122)

令和4年度決算額: 1,216千円

令和4年度の取り組み

非対面型の営業スキル等を学ぶデジタルマーケティングセミナーの開催を通じ、コロナ禍での消費行動・消費者ニーズの変化に対応するためにオンライン化を積極的に進める等、既存のビジネス手法の変更・改善に挑戦する中小企業者等を支援した。

- ・ セミナー開催回数 10回
- ・ 参加事業者数 延べ154社



DX とデジタル化の現状と課題



写真・動画活用ワークショップ

2.原油価格・物価高騰等に係る経済対策

貨物自動車運送事業者燃料価格高騰対策 支援金事業

経済企画課

(連絡先：022-214-8275)

令和4年度決算額：726,792千円

令和4年度の取り組み

燃料費高騰に直面し厳しい経営状況に置かれている市内中小貨物自動車運送事業者に対して、物流機能の維持を図るため燃料費高騰分への支援金を支給した。

【スキーム】

【支援対象及び支援金額】

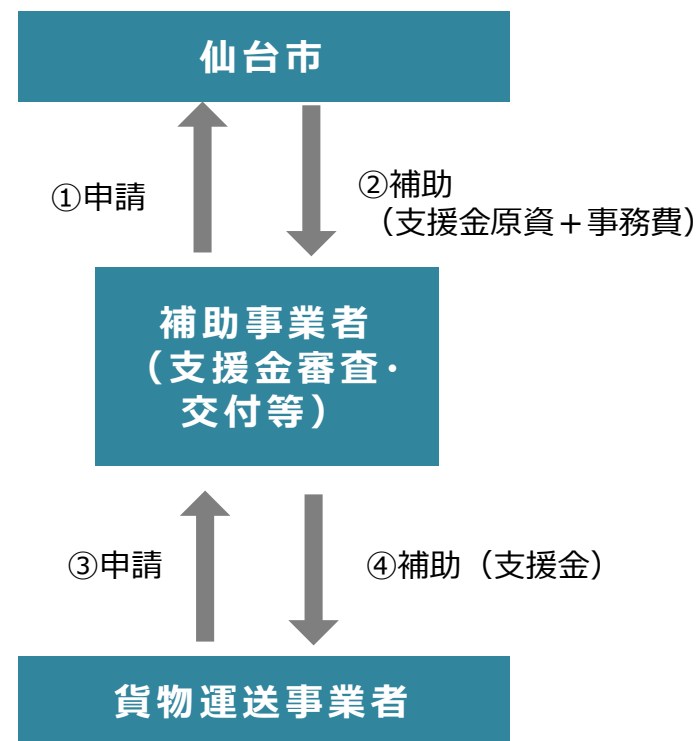
- ・ 市内に営業所を有し、貨物自動車運送事業を営んでいる個人事業者・中小企業（大企業、みなし大企業を除く）
- ・ 貨物自動車1台当たりの支援金額
普通車80千円、小型車20千円、軽貨物10千円

【支援金を支給した事業者数及び台数】

- ・ 事業者数 1,234事業者
- ・ 台数 10,092台
- ・ 支給額計 690,910千円

【事務費】

35,882千円



2.原油価格・物価高騰等に係る経済対策

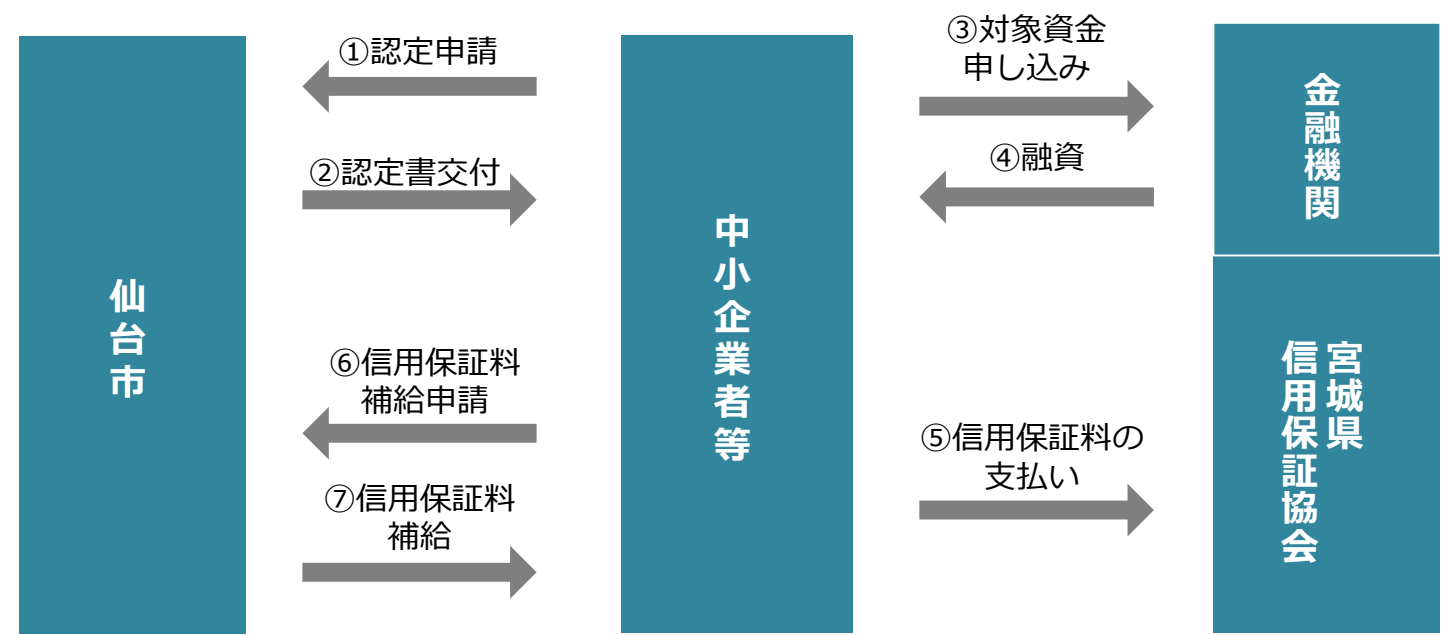
原油価格上昇等関連融資にかかる信用保証料補給

中小企業支援課
(連絡先 : 022-214-1003)
令和4年度決算額 : 3,737千円

令和4年度の取り組み

原油価格や物価上昇等により事業活動に影響を受けた中小企業者が、本市制度融資の対象資金により資金調達を行った際に、当初支払った信用保証料を一事業者当たり100万円を上限に補給し、資金繰り支援を行った。

- ・ 交付決定件数 9件
- ・ 支給額 3,737千円



2.原油価格・物価高騰等に係る経済対策

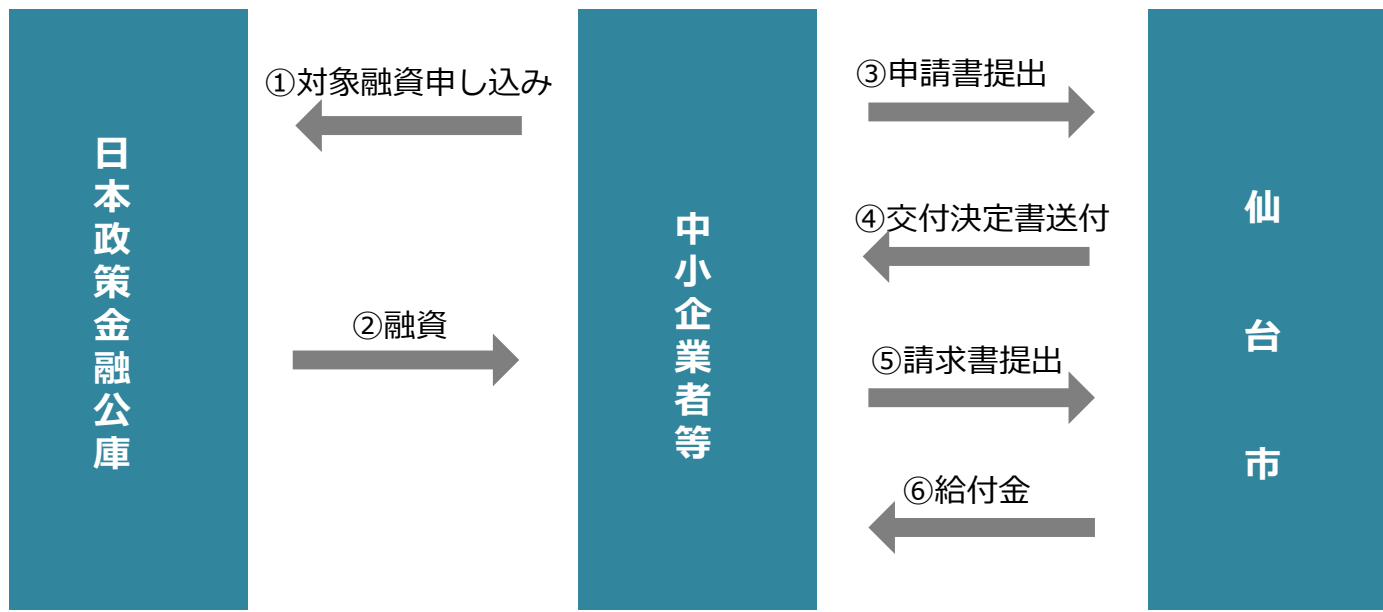
経営環境変化対応資金（セーフティネット貸付）連動型給付金

中小企業支援課
(連絡先：022-214-1003)
令和4年度決算額：2,769千円

令和4年度の取り組み

原油価格や物価上昇等の影響を受け、日本政策金融公庫による経営環境変化対応資金（セーフティネット貸付）を利用した事業者に対し、3年分の利子相当額（上限100万円）の給付を行った。

- ・ 交付決定件数 5件
- ・ 支給額 2,769千円



2.原油価格・物価高騰等に係る経済対策

農業経営緊急支援事業

農業振興課

(連絡先：022-214-8335)

令和4年度決算額：29,086千円

令和4年度の取り組み

海外原料に多く依存する肥料や飼料は、国際情勢の変化や円安などの影響を受けて価格高騰が続き、農業経営に必要な経費が増大したことから、その影響を緩和し、安心して営農継続できる環境の維持を図るため、支援金を交付した。

●肥料高騰対策

【対象者】

国の「肥料価格高騰対策事業」に申請し、化学肥料の低減に向けて取り組む、仙台市内に住所・主たる事業所のある農業者。

【支援額】

国の「肥料価格高騰対策事業」の算式により算定した前年からの肥料費増加額の1.5割。

【支援金交付実績】

1,754千円 (270件)

●飼料高騰対策

【対象者】

仙台市内に住所・主たる事業所のある畜産農家。

【支援額】

飼養している畜種の頭数に応じて支援するもの。

牛1頭あたり 20,000円

鶏1羽あたり 200円

【支援金交付実績】

26,624千円 (34件)

3.経済成長戦略推進

- (1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進
- (2) ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進
- (3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」
- (4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」
- (5) 次世代放射光施設立地を最大限に生かす「光イノベーション都市・仙台」
- (6) ダイバーシティ経営による人材確保
- (7) 仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

「仙台未来創造企業」創出プログラム

経済企画課

(連絡先：022-214-8275)

令和4年度決算額：11,112千円

令和4年度の取り組み

人材の首都圏への流出や支店経済に依存した産業構造などの課題解決に向け、上場を目指す地元企業に対して、「上場チャレンジセミナー」、「上場応援コース」、「集中支援コース」の3つのコースを設け、コンサルタントや土業専門家による、各社の課題・ニーズ及び進捗状況に沿ったサポート等の集中支援を実施した。

- ・新規登録企業数（上場応援コース） 2社
- ・IPOセミナー（オンライン） 開催回数 6回
- ・上場チャレンジセミナー（オンライン）開催回数 2回
- ・新規上場 1件

集中支援コース…監査法人・主幹事証券会社が決定している企業が対象

- 上場専門家が、上場申請書類作成のアドバイスや監査役トレーニングなど各社の課題に応じた個別勉強会や課題解決に向けた集中支援
- 上場準備の実務対応を担う中核人材の紹介支援などを実施

上場応援コース…概ね5年以内の上場を目指す企業が対象

- 上場専門家が課題の洗い出しを行い、上場に向けたスケジュールを提案
- 上場準備全般に関するセミナー開催、上場専門家による規程類作成のアドバイスや人事評価制度などについての相談対応、上場準備の中心となる人材の紹介支援等を実施

上場チャレンジコース…上場の準備状況に関わらず仙台都市圏内企業が対象

- 上場についての基本的な知識をお伝えする「チャレンジセミナー」を開催
- 専門家による、上場スケジュールや資本政策などについてのオンライン相談の実施



令和4年度新規上場企業 市長表敬訪問



仙台未来創造企業

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

御用聞き型企业訪問事業

仙台市産業振興事業団 総務企画課 (中小企業支援課)

(連絡先: 022-724-1212)

令和4年度決算額: 2,218千円

令和4年度の取り組み

● 御用聞き型企业訪問

地域連携フェロー、仙台市産業振興事業団職員、仙台市職員及びビジネス開発ディレクターが企業を訪問して技術課題等を抽出し、解決に向けた助言等を行った。

・ 支援回数 23回

● 寺子屋せんだい

先端技術の活用方法や研究施設の紹介を踏まえた講義形式のセミナーを現地とオンラインのハイブリッド開催で実施した。

・ 開催回数 7回、延べ250名が参加

● 産学連携専門家派遣

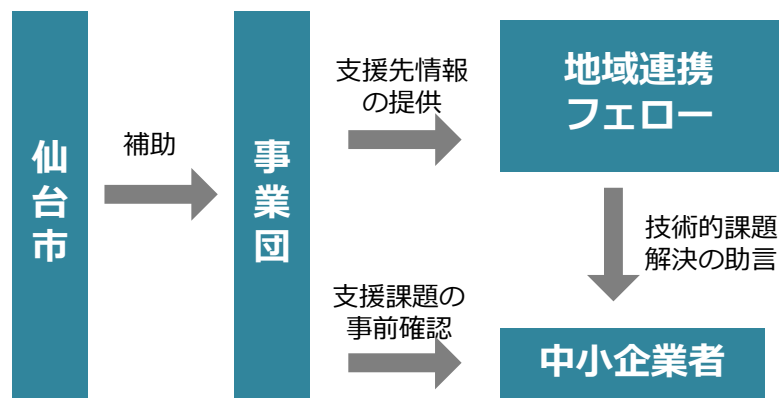
地域連携フェローの専門外の技術分野について、地域連携アドバイザーや大学教授等を産学連携専門家として派遣し、技術相談や助言、産学連携コーディネート等の実施により課題解決を図った。

・ 派遣回数 5回

● 次世代放射光施設の産業利用可能性を探るセミナー

次世代放射光施設の概要・産業利用可能性等を学ぶセミナーを開催し、次世代放射光施設の利活用促進等を図った。

・ 開催回数 1回、103名が参加



(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

仙台市輸出入チャレンジ支援助成金

産業振興課

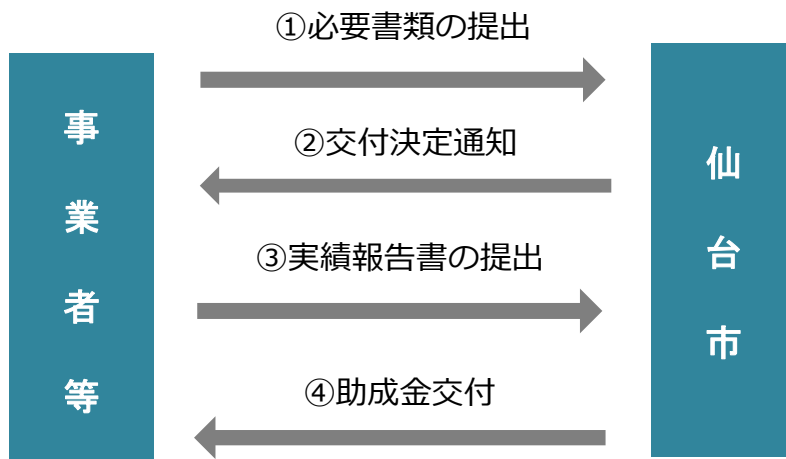
(連絡先：022-214-1005)

令和4年度決算額：3,928千円

令和4年度の取り組み

市内企業が輸出、輸入、アプリケーションのローカライゼーションなどの海外市場開拓へ参入することを促進し、本市経済の国際化・活性化を図った。

・助成金利用件数 11件



令和4年度 オンライン商談に係る経費についても助成します。

仙台市 輸 出 入 チャレンジ支援助成金

～海外市場開拓に関する下記の事業に対する経費を助成します～

- 輸出（オンラインを含む国際見本市等への出席・初年度輸出・輸出 EC）に係る経費
- 輸入（初回サンプルの輸入）に係る経費
- アプリケーションのローカライズに係る経費

■ 目的 市内企業の海外市場開拓を促進し、本市経済の国際化・活性化を図る

■ 対象企業 仙台市内に本社を置く中小企業等

- 前一年度内に本要綱による助成を受けていない方
- 国又は県から同一の項目に関する助成を受けていない方
- 助成金の交付決定時において本市市民の申請を行い、かつ滞納をしていない方
- 暴力団等と関係を持っていない方

■ 申請対象

- 海外への輸出を行う事業に係る経費
 - (1) 国際見本市等に出席する経費(2) 初年度輸出に係る経費(3) 海外への電子商取引に係る経費
- 海外からの輸入を行う事業に係る経費（初回サンプルの輸入）
- 海外から国内・国内から海外へのアプリケーションのローカライズを行う事業に係る経費
 - ※サンプルの輸入は経費のみ対象となります
 - ※申請時に申請/終了するものに限り、対象経費については範囲に記載しています
 - ※本要綱による助成金交付回数より超過はできません

■ 助成限度

重点産業・重点地域の該当によって下記表のとおり助成します

- 重点産業 競争力強化、IT 産業、デザイン産業及び食品産業
- 重点地域 アセアン及び EU
- 助成割合 対象経費の2分の1以内（本市予算の範囲内で助成いたします）

	重点地域	重点地域以外
重点産業	上限 50万円	上限 35万円
重点産業以外	上限 35万円	上限 25万円

■ 申込み・お問い合わせ先

担当部署 経済産業部国際経済課国際経済課
 住 所 〒980-0803 仙台市青葉区美田3-6-1 仙台パークビル東館
 電 話 022-214-1005 E-mail: su2023@city.sendai.jp

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

福祉機器等アジアビジネス展開支援

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)

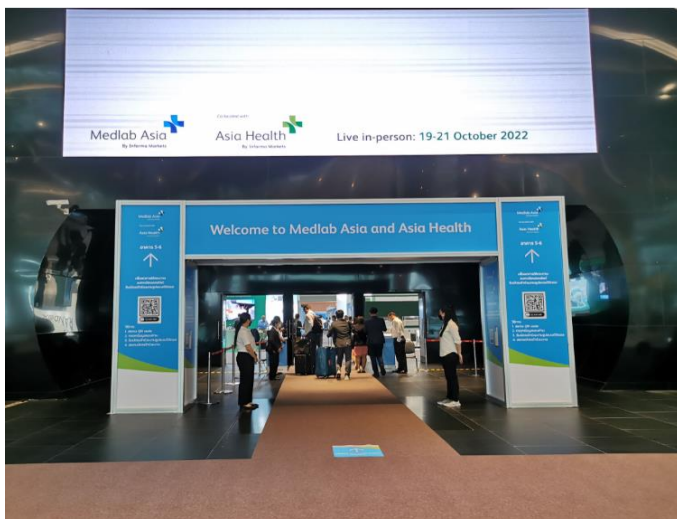
令和4年度決算額：3,355千円

令和4年度の取り組み

医療・福祉機器を取り扱う市内事業者に対して、今後高齢化が進むASEAN諸国へ輸出するための支援を実施。タイ・バンコクで行われたアジア最大級の国際医療・福祉機器展示会である「Medlab Asia 2022」に本市ブース出展を行い、事業者の海外展開支援を行った。

タイに設置した「仙台ータイ経済交流サポートデスク」では、タイを中心としたASEAN諸国への進出支援に関する情報提供を行った。

- ・海外展示会出展 1件



(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

仙台-タイ経済交流サポートデスク

産業振興課

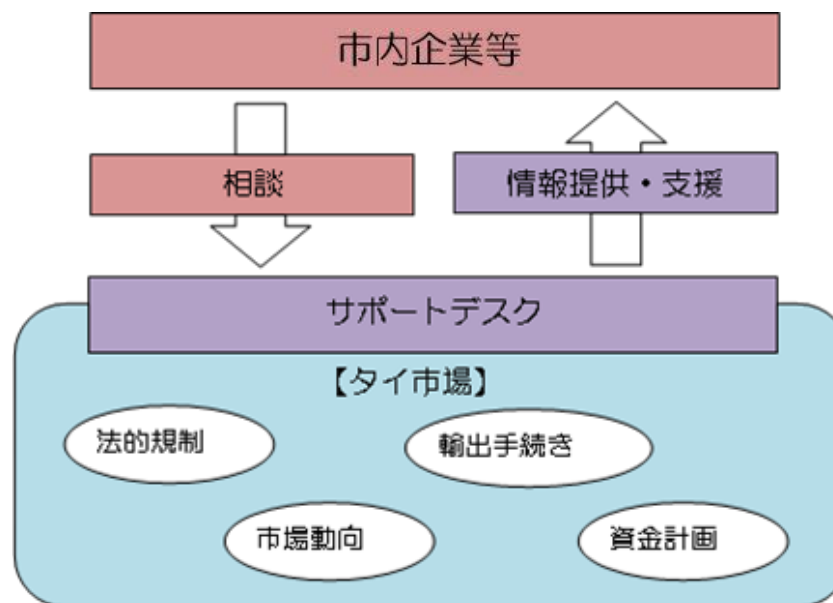
(連絡先：022-214-1005)

令和4年度決算額：1,734千円

令和4年度の取り組み

タイ・バンコク都に「仙台-タイ経済交流サポートデスク」を設置し、タイへの製品・技術等の販路開拓を希望する市内企業等の個別の相談に乗りながら、それぞれのニーズに合わせた支援を行うことで、市内企業等のタイへの輸出・進出の促進を図った。

- ・相談企業件数 20件
- ・メルマガ配信件数 14件



(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

タイ食品輸出物産展・展示会出展への支援

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)


令和4年度決算額：仙台-タイ経済交流サポートデスク)を含む

令和4年度の取り組み

現地のサポート体制が整っているタイへの食品・飲料を扱う市内・域内企業の海外輸出機会の創出と、現地販路開拓支援を行った。

令和4年度はオンラインセミナーの実施や、メルマガ等で食品分野に関する情報提供を行った。

・オンラインセミナー 1回



タイビジネス入門セミナー

～ パターン別に学ぶ、タイ進出の始め方!! ～

次第

15:00～15:05	開会の挨拶
15:05～16:20	セミナー/ 質疑応答
16:20～16:30	仙台市からの海外展開支援策についてのご案内
16:30	閉会

1.越境ECの活用

事例) タイを含む東南アジアで人気のECサイトへの出店
Lazada <https://lazada.jp/> Shopee <https://www.shopee.jp/>



日本語のサポート体制があり、出店申し込みなどが日本語で可能。
サイト内の表示言語は、英語や対象国の言語での掲載が必要
[コスト]* ECサイトに自社ショップを立ち上げる場合
初期費用 :無料～数万円 (出店サポート業者、翻訳費など)
月額固定費:無料～ (商品のアップデートなどのメンテナンス)

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

ウェルビーイング産業創出促進

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)

令和4年度決算額：36,111千円

令和4年度の取り組み

仙台フィンランド健康福祉センター（S-FWBC）を拠点に、ウェルビーイング分野における製品・サービスの開発支援、オンライン展示会であるH.C.R(国際福祉機器展)への出展支援を行った。

また、シニア市場向け事業開発に関するセミナーの他、フィンランドとの経済・文化交流を目的として、フィンランドのサウナ文化や高齢者福祉の状況を日本に紹介するセミナーを行った。

S-FWBCが持つ地域の介護施設とのネットワークを活かし、地元企業に対して福祉機器開発に係るアドバイスを行った。

・開発支援件数	4件
・展示会出展支援件数	9件
・セミナー開催回数	3回
参加者数	延べ209名



オンラインセミナー

フィンランドの高齢者福祉の今と未来

～個の尊重と人を支えるテクノロジー・ネットワークのあり方～

2/16 木
16:00~17:15 参加無料

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

事業承継促進

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1003)

令和4年度決算額：2,704千円

令和4年度の取り組み

市内の事業承継を考えている経営者や後継者等を対象に、事業承継の必要性等を伝える啓発セミナー、経営者として必要な知識や心構えを学ぶ後継者育成スクール、M&Aの知識を学ぶ第三者承継セミナーを開催した。

【参加実績】

- ・ 事業承継啓発セミナー 15名
- ・ 後継者育成スクール 延べ14名 (全5回)
- ・ 第三者承継セミナー 3名

せんだい事業承継セミナー
主観：仙台市

事業承継支援のノウハウが、成功事例と失敗事例を語り交わらせ、優しく伝えます。

いちばん優しい事業承継セミナー
～何から始めますか? 事例を参考に手順を学びましょう～

1. 初心者にやさしくOK。事業承継がドッグですべて解決!
2. 会議で一緒に読みながら解説します。全体の流れが理解できます。
3. 事例を細かくて説明しますので、思い当たることも多いはず。
4. 後継者の見つけ方、育て方、選り方、を具体的に教えます。
5. 後継者の心構え、学ぶべきこと、とは何か? 一緒に考えます。

1553年創業の老舗、輸出社会を築いて40年で、独立自分自身がオーナーの取組と、成長発展からスタートで経験した強みを活かし、2011年に事業承継センター株式会社を設立。相続事業承継についてお客様への価値、親子の絆を共有し、(事業承継士)の育成がライフワーク、2018年に自社の会社事業承継士会発足に責任。

令和4年9月26日(月)
17:00～18:30(終了後懇話会30分程度)

仙台市中小企業活性化センター セミナールーム1A
(区役所ビル4階東側2号1-3-1 AERF) ※駐車あり

定員 30名 講師 内藤 博

お申し込み方法：簡易のお申込書にご記入いただき、FAXまたはEメールにてお申し込みください。また、ホームページからもお申し込みいただけます。
(お問い合わせ先) 事業承継センター(株) TEL:03-5408-5506 受付時間:9:00～18:00

せんだい後継者塾 11/21
全5回

専門「事業承継士」が後継者(候補)に、経営に必要な心構えや知恵をお伝えします。

研修の目的 こんなことが得られます

- 1. 会社(自分)を知り、他社(他人)を知ることによって、経営課題を把握できる。
- 2. 経営に必要な心構えを学ぶ。
- 3. 成功事例の背景は経営者に学ばない。中小企業が知っていること、使っている、成功事例が参考となり学ぶべきこと。
- 4. 経営に必要な心構えを学ぶ。
- 5. 経営に必要な心構えを学ぶ。

対象 仙台市に事業承継を中小企業の後継者(候補)、承継後まもない経営者等

申込 11月10日

お申し込み方法：簡易のお申込書FAXいただくか、QRコードがWEBにてお申し込みください。
(問い合わせ先) 事業承継センター(株) TEL:03-5408-5506 受付時間:9:00～17:00



後継者育成スクール

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

「新東北みやげコンテスト」事業

仙台市産業振興事業団 経営支援課（中小企業支援課）

（連絡先：022-724-1122）

令和4年度決算額：4,187千円

令和4年度の取り組み

東北の地域性を生かしたみやげ品の知名度向上・販売促進を目指し、審査会を兼ねたオンライン展示会を開催した。また、受賞商品を中心とした域内外での販売会実施、商品のPR等を実施した。

- ・ エントリー商品数 236件
- ・ 販売会開催回数 5回
- ・ マスメディア掲載件数 10件以上
- ・ 商談件数 186件（うち成約125件）



R4年度最優秀賞 魚介のリゾット缶3種3缶入り
（岩手缶詰株式会社）



販売会

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

バイヤーとの個別マッチング支援

仙台市産業振興事業団 経営支援課（中小企業支援課）

（連絡先：022-724-1122）

令和4年度決算額：970千円

令和4年度の取り組み

産業振興事業団に「販路開拓コーディネーター」を配置し、新しい生活様式によって生まれたニーズに対応して仙台地域内外のバイヤーとのビジネスマッチングを実施した。

- ・ 支援企業数 104社
- ・ 商談件数 134件
- ・ 商談成約件数 57件

【主な支援実績】

支援先企業	マッチング成約先	成約内容
菓子製造業者 (仙台市)	催事販売業者 (大阪府)	支援先企業の和菓子を関西圏等の複数の催事にて販売することとなった。
菓子製造業者 (宮城県)	百貨店 (宮城県)	支援先企業の菓子を百貨店にて販売することとなった。
食品製造業者 (宮城県)	高級スーパー (台湾)	支援先企業の加工食品を台湾の日本食スーパーにて販売することとなった。
雑貨製造業者 (仙台市)	ECサイト運営業者 (東京都)	ECサイト運営業者のポップアップショップにて販売することとなった。

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

販路開拓エコシステム推進事業

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1003)

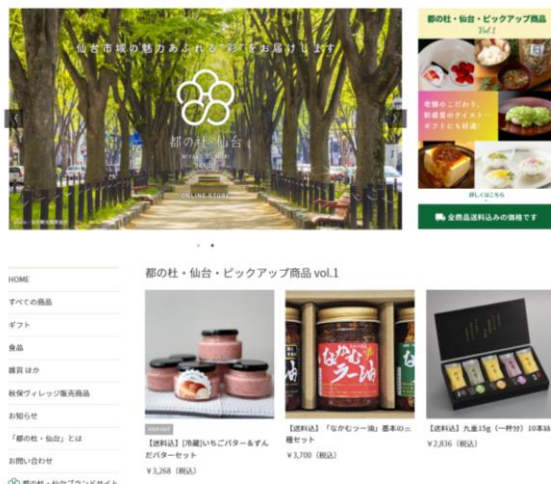
令和4年度決算額：18,128千円

令和4年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響による市場環境の変化や販売機会の減少に苦しむ地元中小企業に対して、域内外の関係機関が各々の強みを生かし連携して支援を行う「エコシステム」を構築し、ECサイトの運営や仙台市内での販売会開催、卸売事業者と連携した商談支援、首都圏展示会出展等を通じて、地域ブランド「都の杜・仙台」の参画事業者の域内外への販路開拓を進めた。

【主な支援実績】

- ECサイト出品事業者数 19社
- 販売会出品事業者数 延べ83社
- 卸売事業者を通じた商談事業者数 延べ35社
- 首都圏展示会への出展 14社



ECサイト



販売会



販促企画

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

東北地域ものづくり企業連携事業

仙台市産業振興事業団 総務企画課（中小企業支援課）

（連絡先：022-724-1212）

令和4年度決算額：926千円

令和4年度の取り組み

● 東北連携バイヤーズガイドの制作

本市と東北6県のものづくり企業を紹介するガイドブックを制作。各都道府県+政令市の支援機関等に配布し、東北域内企業の情報を域外へ情報発信するツールとして活用した。



接着剤を使用せず、プラスチック製品を1秒以下で溶着します

用途	特徴・性能・実績
<ul style="list-style-type: none"> ● 精密加工用超音波ジェット（マイクロジェット） ● 超音波溶着（接着剤不使用） ● 超音波切断（切断面が滑らか） ● 超音波洗浄（洗浄力が高い） ● 超音波加工（加工精度が高い） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 超音波溶着は接着剤を使用せず、接着剤の硬化時間を短縮できる。 ● 超音波溶着は接着剤を使用しないため、環境に優しい。 ● 超音波溶着は接着剤を使用しないため、接着剤の硬化時間を短縮できる。 ● 超音波溶着は接着剤を使用しないため、接着剤の硬化時間を短縮できる。

01 仙台市

超音波ウェルダージェット SONOPET J II

● 東北地域産業支援機関連携ネットワーク会議

東北域内ものづくり企業のマッチングを促進するためのネットワーク会議を開催し、各地域のものづくり企業のニーズ・シーズについて域内支援機関と情報交換を行った。

- ・本事業による企業間のマッチング件数 22件
- ・本事業による経済効果 6億1,000万円



東北地域産業支援機関連携ネットワーク会議

(2) ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進

中小企業者金融支援事業

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1003)

令和4年度決算額：15,923,124千円

令和4年度の取り組み

国の保証制度を活用した低利・固定・長期返済期間の融資制度を構築し、市及び信用保証協会が地元中小企業の信用補完と貸倒れの際の金融機関の損失補償を行うことで、地元中小企業の資金調達の円滑化を支援した。

【令和4年度の融資実績】

区分	預託額 (千円)	損失補償額 (千円)	融資件数 (件)	融資額 (千円)	融資残高 (千円)
中小企業 育成融資	13,499,000	43,409	777	11,727,617	43,386,671
小規模企業 小口融資	502,000	1,471	141	587,422	1,431,763
地域産業 活性化融資	256,000				348,429
新事業創出 支援融資	1,251,000	5,244	208	1,313,889	2,366,986
一般社団法人等 支援保証融資	365,000		9	94,980	344,728
計	15,873,000	50,124	1,135	13,723,908	47,878,577

(2) ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進

頑張る商店街応援事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1004)

令和4年度決算額：5,854千円

令和4年度の取り組み

イベント事業や、商店街のイメージ創出を図る取り組み、個店・地域資源の魅力を発信する取り組み等を行う意欲のある商店街に対し支援を行い、地域のにぎわい創出と売上げ向上を図った。

- ・商店街イベント助成事業：16件
- ・商店街魅力向上支援事業：3件
- ・支援対象団体へのアンケートにおける「商店街活性化に資する」旨の回答割合：100%



商店街イベント助成事業（柳町会：やなぎまち夏祭り）



商店街魅力向上支援事業
（一番町一番街商店街：ぶらんどーむ文化祭「一番町仙台はじめて物語」WEBコンテンツ事業）

(2) ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進

商店街交流促進事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1001)

令和4年度決算額：150千円

令和4年度の取り組み

市内商店街が最新の活動状況等について情報交換する交流イベント「商店街サミット」をリアル参加、オンライン参加のハイブリッド形式にて開催し、各商店街が取り組む事業活動や抱える課題を共有する機会を創出することで、商店街間のネットワーク強化等を図った。

- ・ 令和4年度幹事商店街 クリスロード商店街振興組合
- ・ 参加商店街数 11商店街
- ・ 内容 参加商店街からの事例発表、意見交換会



商店街サミットの様子



参加商店街からの事例発表

(2) ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進

商店街集客力向上事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1001)

令和4年度決算額：299千円

令和4年度の取り組み

「まちゼミ」、「まちバル」、「100円商店街」を実施する商店街等に対し広報に要する費用の一部を助成し、商店街や個店のファンづくり、来店者や売り上げの増加を図った。

・助成実績：1件



(柳生・西中田商工振興会：柳生・西中田まちバル)

(2) ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進

商店街近代化対策研究事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1004)

令和4年度決算額：1,257千円

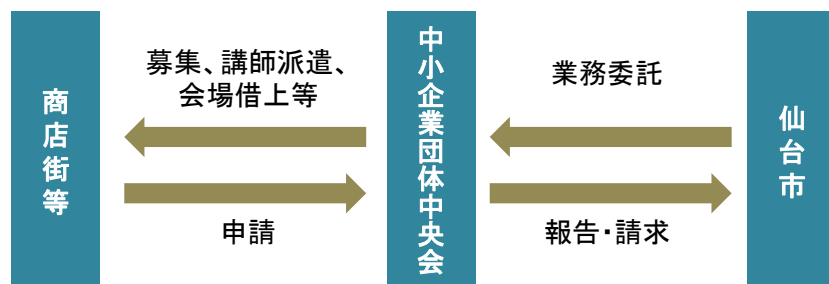
令和4年度の取り組み

商店街や事業協同組合の組織活性化を図るため専門家等を派遣し、研修会等を開催することにより、環境の変化に応じた事業活性化を促進し、中小企業団体の近代化や次代を担う中小企業者の育成を図った。

【支援対象】

- ・商店街近代化対策研究事業
市内の商店街振興組合、任意の商店会等
- ・組合事業等活性化指導事業
市内に主たる組合事務所がある中小企業団体

【事業スキーム】



- ・開催回数 13回
- ・出席者アンケートにおける「商店街・組合の近代化・活性化に向けて取り組みたい」旨の回答割合：87.4%

【主な研修会テーマ】

- ・インボイス制度と電子帳簿保存法
- ・新規市場開拓
- ・地域コミュニティ活性化 など



研修会開催の様子

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

次世代X-TECHビジネス創出促進事業

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和4年度決算額：43,132千円

令和4年度の取り組み

AIを始めとする先端IT技術を活用した付加価値の高い新たなビジネス創出・既存事業高度化を目的として、経営層向けのセミナーやビジネス創出ワークショップ等のプログラムを実施した。

AIを始めとする先端IT技術を活用したビジネス創出に取り組むことができる人材を育成するため、AI等に関する基礎的/専門的な知識や技術を学ぶ教育プログラムや普及啓発セミナー等を実施した。

- ・ 経営層向けAIハンズオンセミナー参加者数 26名
- ・ AIビジネス創出ワークショップ参加者数 25名
- ・ AIビジネスメンタリングプログラム参加企業数 10社
- ・ 仙台X-TECHイノベーションアワード申込数 15件
- ・ AI人材育成関連事業参加者数 延べ 116名
- ・ 普及啓発オンラインセミナー参加者数 延べ 362名



(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

東北大学情報知能システム(IIS)研究センター 運営支援

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和4年度決算額：27,246千円

令和4年度の取り組み

地域産業・地域企業が抱える課題やニーズと、東北大学工学研究科電気・情報系約80の研究室が持つ先端技術シーズのマッチングを行った。

相談案件の課題解決・新ビジネスの創出に向けて、競争的資金獲得・研究開発・事業化までの一貫した支援を行った。

・打合せ件数

来訪 61件

訪問 682件

web 1,328件

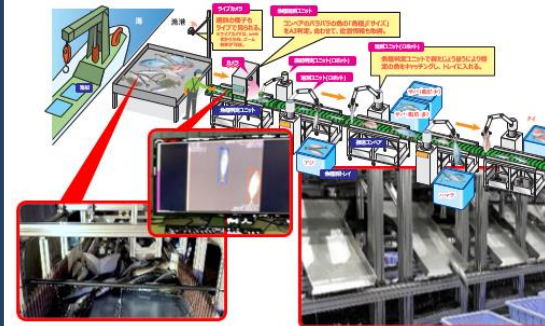
オンライン診療の活用に向けた技術支援



技術支援
(東北大学)
×
通信事業者
×
医療機器事業者

→機器開発の支援中

定置網等の魚種選別自動化



画像処理技術・
摩擦技術等
(東北大学)
×
地元IT企業他
×
漁協・
水産設備事業者等

→製品化に向けて開発中

開発支援事例

(3) Society5.0を実現する「X-TECH(クロステック)イノベーション都市・仙台」

CareTech(ケアテック)推進事業

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)

令和4年度決算額：5,922千円

令和4年度の取り組み

仙台フィンランド健康福祉センター（S-FWBC）を拠点に、介護福祉に関する製品・サービスの開発および普及を支援した。

IT企業やものづくり企業向けに、介護現場の現状を学ぶセミナーや意見交換会を開催したほか、市場調査・開発・実証など、製品化の段階に応じた支援を実施した。

また、介護施設へのICT技術の導入・定着を支援すべくセミナーの開催やIT専門家の派遣を実施した。

・開発企業向け支援

セミナー参加者数 27名

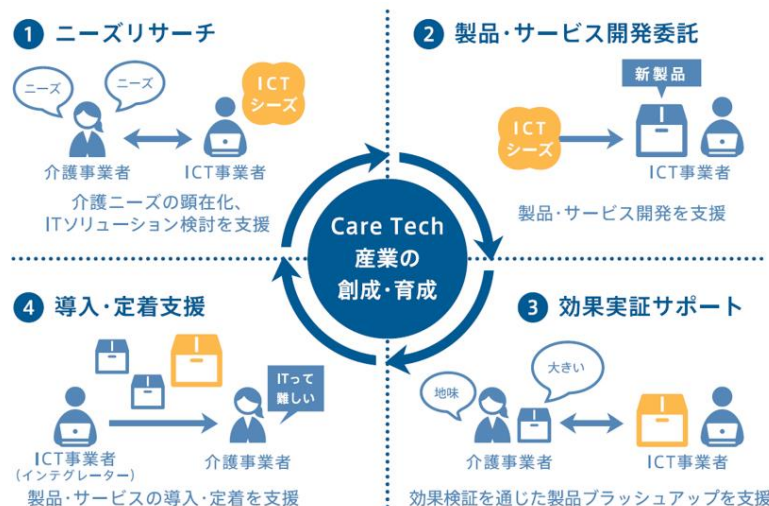
意見交換会参加企業数 10社/施設

市場調査支援件数 3件

開発支援件数 2件

・介護施設向け支援

IT専門家派遣 3施設



(3) Society5.0を実現する「X-TECH(クロステック)イノベーション都市・仙台」

HealthTech(ヘルステック)推進事業

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)

令和4年度決算額：15,000千円

令和4年度の取り組み

ヘルスケア領域や介護福祉領域の地域課題に対し、企業・大学等との連携を図りながら課題解決に資する製品等の開発・事業化を支援し、地域の産業創出と市民の健康福祉の向上に寄与することを目的に、仙台市HEALTH-TECH推進事業を実施した。

・課題解決コース

健康福祉に関する課題をテクノロジーで解決するアイデア・プランを募集し、採択されたアイデア・プランについては、社会実装に向けて有用性を確認する実証実験を支援した。

・集中支援コース

前年度ビジネスアイデアコンテストにおいて上位評価を受けた事業者に対し、製品開発・実装に向けた実証実験を支援した。

・学びコース

HEALTH-TECHに関心のある企業の人材育成を目的として、東北大学と連携してヘルスケアビジネスに役立つセミナーなどを実施した。

- ・コンソーシアム登録件数 180件
- ・課題解決コース 応募件数 9件 採択件数 3件
- ・集中支援コース 実証支援件数 2件
- ・学びコース

ヘルスケア領域でのデータ活用セミナー参加企業数 8社
医療機器ニーズ探索プログラム参加企業数 4社



仙台ヘルステックコンソーシアムのホームページ

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

BOSAI-TECH イノベーション創出促進事業

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和4年度決算額：44,539千円

令和4年度の取り組み

BOSAI-TECHイノベーション・エコシステムの形成を通じて、仙台防災枠組が掲げる世界の災害リスク低減への貢献を目指し、産学官金連携組織の「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」を設立し、「防災関連事業の創出や事業化を支援するプログラム」や「防災関連の技術紹介、ビジネスマッチングの機会を提供するイベント」を開催した。



- ・「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」
参画団体数 169団体（令和5年3月31日現在）
- ・「仙台BOSAI-TECH Future Awards（事業創出プログラム）」
応募件数 23件 採択企業数 3社
- ・「Step Abroad!（JICA連携海外展開支援プログラム）」
セミナー参加者数 35名 個別相談企業数 4社
- ・実証実験サポートプログラム(事業化支援プログラム)
応募企業数 14社 採択企業数 4社
- ・仙台BOSAI-TECH Lounge（会員の交流促進イベント）
開催回数 4回 参加者数 100名（延べ）
- ・仙台BOSAI-TECHカンファレンス2023（防災関連の技術紹介、ビジネスマッチングイベント）
登壇者数 8団体 視聴者数 112名

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

中小企業新製品等開発支援補助金

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和4年度決算額：12,135千円

令和4年度の取り組み

新事業創出及び高付加価値化を目指し、克服すべき技術的課題を解決するため、市内の中小企業が行う新製品・サービスの開発に対する補助金を交付した。

- ・申請件数 11件
- ・採択件数 6件

11社より地域や社会の課題解決に資する先端ロボティクス関連、またはIT関連の新たな製品・サービスの開発にかかる申請があり、有識者による審査委員会を通じて、5社を採択した。

<採択事業>

No	企業名	事業計画名称
1	バイスリープロジェクト(株)	緩い凹凸欠陥を検出する手法および欠陥位置の教示(VR表示)に関する研究開発
2	(株)XMAT	高精度位置検出機能を備えた拡張現実技術によるコンクリート塩分濃度調査
3	テクノウイング(株)	販売管理システムとAI-OCRの連動による自動入力システム
4	(株)ミヤックス	老舗企業が取り組む公園のDX 安全・安心・楽しい公園を取り戻せ！「Park BI」
5	(株)zero to one	自然言語処理を活用した対話型教育エンジンの開発
6	ライフラボラトリ(株)	ドローンによる人・モノの位置検知システム



(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

グローバルラボ仙台コンソーシアム運営支援

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和4年度決算額：16,761千円

令和4年度の取り組み

フィンランド・オウル市との産業振興協定に基づき、仙台・東北のIT・ゲームコンテンツの産業分野における人材育成や企業間ネットワークを活性化することで産業振興に繋げることを目的に、地場企業や教育機関が組織するグローバルラボ仙台コンソーシアムの運営支援を行った。

具体的な活動として、東北の学生を対象に、地域のIT企業・ゲーム企業等に所属する方をメンターとして、約半年間にわたってアプリやゲーム等の企画・開発を行うプログラム「開発塾」を実施した。また、オウル応用科学大学の「オウルゲームラボ」の学生もメンターからの支援を受け、ゲーム開発に取り組んだ。

仙台・東北のIT関連学生の技術力向上の機会の提供や、コンテスト出場学生とスポンサー・地域企業を繋げることを目的としたアプリコンテストイベント「DA-TE APPS!」を開催した。

海外展開の支援や首都圏企業等とのマッチングを行い、企業の販路開拓から事業拡大に繋がられるよう、首都圏展示会(東京ゲームショウ)等への出展支援を行った。

- ・人材育成プログラム及び
コンテスト等関連事業実施回数 3回
- ・作成作品数 11件



アプリやゲームの企画・開発を行う「開発塾」



アプリコンテスト「DA-TE APPS!」

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

地域IT人材確保支援事業

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和4年度決算額：3,975千円

令和4年度の取り組み

市内IT企業の認知度を高め、人材確保を支援することを目的に、学生・若者等に対してオンラインにより、「IT業界啓発イベント」及び「IT業界合同企業説明会」を開催した。

- ・ IT業界啓発イベント
- ・ IT業界合同企業説明会

視聴者数 延べ140名

参加企業数 40社

参加者数 76名



IT業界啓発イベント



IT業界合同企業説明会

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

IT産業関連展示会出展支援

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

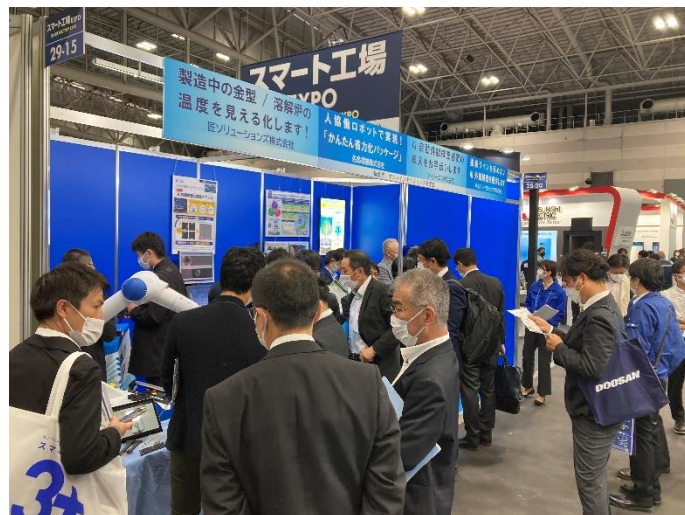
令和4年度決算額：2,045千円

令和4年度の取り組み

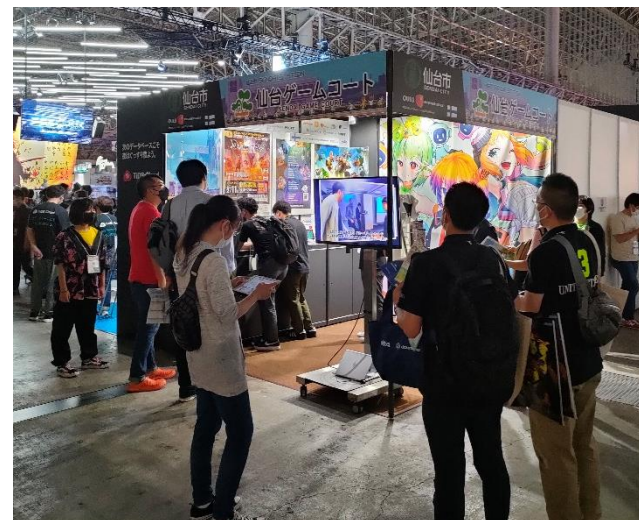
仙台・東北をフィールドに開発したITソリューションの販路開拓を支援するため、東北大学IIS研究センターやマシンインテリジェンス研究会等の関連団体とともに先端IT技術関連展示会への出展支援を行った。

地元のゲーム・モバイルアプリ開発企業の販路開拓を支援するため、ゲーム関連展示会への出展支援を行った。

- ・各種展示会への出展支援件数 2件



IT産業関連展示会



ゲーム産業関連展示会

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

IT産業振興に係る情報発信事業

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和4年度決算額：3,800千円

令和4年度の取り組み

IT産業に関わる(又は興味をもつ)市域内外の人々の交流等のつながり創出・強化により、本市におけるIT産業の更なる活性化及びIT人材の地元定着・UIJターンの促進を図るため、Webサイト「SENDAI INC.」を使った情報発信を行った。

SENDAI INC.にて、地域で活動するITコミュニティやそれに関わる人、地域で活躍するIT企業に関連する様々な情報を掲載すること等により、本市がIT産業に関わる人々にとって魅力的な都市であることを発信した。

・掲載コンテンツ数 6件



(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

IT活用推進事業・IT人材研修

仙台市産業振興事業団 IT活用推進課（産業振興課）

（連絡先：022-724-1125）

令和4年度決算額：14,234千円

令和4年度の取り組み

国家戦略特区に認定されている「仙台テレワークサポートデスク」を通じて、テレワーク導入の支援を行った。

IT活用による地域の中小企業者のデジタル化を推進し、新たな市場の開発や生産性向上などによる経営力強化に向けて、専門家による伴走支援やセミナー等を実施した。

地域企業を対象としたデジタルツールやテレワークの体験機会を提供するデジタル化体験イベントを開催し、展示会や講演等を実施した。

IT担当者として必要な知識・技術の習得し、社内のIT戦略を策定するなどIT化を率先できる人材を育成するため、新入社員向け・中堅社員向け・エンジニア向けの研修をそれぞれ実施した。

- ・テレワークサポートデスク相談件数 233件
- ・セミナー・イベント参加者数 延べ303名
利用者満足度 平均92.2%
- ・IT人材研修参加者数 延べ266名

